

令和3年度 第1回 名張市空家等対策推進協議会 会議録

○会議名：令和3年度 第1回 名張市空家等対策推進協議会

○開催日時：令和3年11月10日（水） 午後2時から午後3時10分

○開催場所：名張市役所 2階 庁議室

○出席した者の職氏名

<協議会委員>

名張市市長	亀井 利克
地域づくり代表者会議	田畑 純也
三重県司法書士会伊賀支部	村上 眞吾
名張市総務部 副参事	長谷川 文哉
名張中古住宅流通促進協議会 会長	森 孝司
三重県宅地建物取引業協会伊賀支部 支部長	富士松 洋也
三重県建築士事務所協会伊賀支部	加納 哲也
名張市社会福祉協議会地域福祉課生活支援係主任	中川 久美子
名張市子育てサークル連絡協議会	八木 美由起
名張・まちづくりの会	岩見 勝由
名張市地域環境部 部長	宮崎 正秀
名張市都市整備部 部長	谷本 浩司
名張商工会議所女性会 会長	東 敦子

<事務局>

営繕住宅室 室長	中嶋 優子
営繕住宅室 営繕担当室長	中西 隆之
営繕住宅室	安部 哲弘
営繕住宅室	福永 智之
営繕住宅室	山岡 寛明

○会議の公開又は非公開の別

公開

○傍聴人の数

0名

○報道機関

YOU：資料のみ

○議事

- (1) 空家等利活用促進等にかかる取組状況について（報告）
- (2) 特定空家等に対する措置状況について（報告）

<配付資料>

- ・資料1 空き家バンク、リノベーション補助等の状況について
- ・資料2 空き家の適正管理に関する相談状況について
- ・資料3 特定空家等に対する措置状況について

○委嘱状の交付

○副会長の選出

名張中古住宅流通促進協議会会長の森孝司氏に決定

○特定空家等対策小委員会委員の選出

別紙特定空家対策小委員会委員名簿（案）のとおり決定

○あいさつ

（会 長）皆さんこんにちは。空き家対策委員会委員に快く就任いただき衷心よりお礼申し上げます。自治体にとっての最大のテーマは地方創生です。就職や進学により人口が大都市に一極集中しており、地方は人口が減少しておりますが、都市部での生活にはお金が必要であるため、自由に使えるお金が少ないですが、三重県は預貯金額が多いし今後、多様な学びや働き方、豊かな生活環境のためには都市部に行かなくてもよくなります。それを実現するためのツールが5Gやデジタルの普及で実証されつつある。こういった取組は国も力を入れていくと総理も申されていますので、大いに期待をしたいと思います。そういった流れの中で、名張市で中古物件を購入しリフォームして移住する方やリフォームして売却する業者もおり、行政として地方創生の臨時交付金も充てて活用していきたいと、商工会議所へ委託をお願いします。地方創生の臨時交付金の補正を全国市長会の地方創生委員長として、希望額一兆円を大臣に出しているところです。各市にどれぐらいの配分があるかは分かりませんが、今後もリフォーム事業に充てていきたいと思っております。皆様方に格別のご指導ご支援ご協力をいただいで抜かりなく事業を進めていきたいと思っておりますので、今後ともよろしく申し上げます。

○議事

- (1) 空家等利活用促進等にかかる取組状況について（報告）
 - ・「空き家バンク、空き家リノベーション補助等の状況について」【資料1】
 - ・「空き家の適正管理に関する相談状況について」【資料2】
- (2) 特定空家等に対する措置状況について（報告）
 - ・特定空家等に対する措置状況について（報告）【資料3】

事務局より資料に沿って報告

<質疑等>

- (委 員) 資料2の倒壊の恐れがある空き家の内、戒告している空き家の状況を教えて欲しい。
- (事務局) 該当する物件は令和3年度で代執行済みです。
- (委 員) 資料3の行政代執行をした家屋の基礎は残っているが基礎は残したままか。
- (事務局) 特定空家対策小委員会にて危険な建物及び周辺景観への影響により敷地内樹木の伐採について特定空家等と認定妥当と意見いただいております。今回は危険個所を除却するのが目的であるため、基礎は残します。
- (委 員) 空き家バンクに登録した利用者に対し、登録後どんな取組を行っているのか。
- (事務局) 登録期間は2年間であり、登録後、希望内容に応じた物件の案内を優先的に行っていきます。物件の登録も合わせて名張中古住宅流通促進協議会へ委託している。
- (委 員) 管理不全空き家の把握方法を教えて欲しい。
- (事務局) 区長さんや管理不全空き家の近所の方など地域からの連絡が多く、市内パトロールをしている中でも管理不全と見受けられる場合も指導に繋げている。
- (委 員) 特定空家等への認定のため小委員会へ諮るものは事務局で判断しているのか。
- (事務局) まずは条例の指導をし、中々是正が進まない建物倒壊の恐れがある危険なものについて小委員会に諮るかどうかが判断している。小委員会に諮ったものはほぼ認定妥当との意見をいただいているが、条例での対応でとし、却下の案件もあります。
- (委 員) 名張地域からあげた14件はまだそれまで至っていないということか。
- (事務局) 地域から相談のあったものはまずは現地確認し条例に基づき指導等を行っていき、それでもという物件を小委員会にあげています。
- (委 員) 資料1の特定空家等及び不良空家除却費補助事業の申請件数が増えているが理由はなぜか。

- (事務局) 本制度は2年目であり、一定の周知が出来、関係業者さんの認知も進んできた結果と推測している。今年度も10件の予算を確保しているが、昨年度同様な件数になる見込みである。引き続き周知等にご協力いただきたい。
- (委員) 名張へ帰ってきたい方からの依頼で耐震診断したが、件数としてはどれ位あるのか。
- (事務局) 昭和56年以前の建物に対し無料で行っており、20件の予算がある。今年度は5件の診断を依頼している。名張地域へ案内を送付している中で10件を超える希望があり、依頼予定である。また、診断後の補強工事の補助も5件分あるが、残念ながら希望なしです。今後も周知していきたい。
- (会長) 事項7に移ります。その他空き家に関する質問などはないか。
- (委員) 課名称に「空き家対策」を掲げる予定はないか。
- (会長) 業務自体地方創生との絡みがある。検討課題としたい。
- (委員) 資料を見るに子育て世帯に対する中古住宅等リノベーション支援事業の申請件数が以前から増えていない。子育てLINEというサービスがあり、友人等への口コミも期待できるので、出すのはどうか。
- (事務局) 早急に確認し、掲載可能であれば対応します。
- (委員) こういう会議に初めて参加させていただく。空き家バンクも興味がある。自分なりに思うことがあり、空き家を出さないこと、放置しないことはどうすればよいか。医療体制、国道4車線化で買い物困難などへの対応をすればどうか。住みやすさと住み続けるのは違うと思う。地域でのネットワークがあれば良いのではと思う。
- (会長) 多方面の意見などをいただいた。人口減少のなかで考えた医療の機能分担を行い、効率的な経営を国の方針のもと進める。伊賀盆地の中で仕事とすまいを考える。名張は暮らしの町として磨きをかけ、子育て教育等特色ある町にしなければならない。買い物も移動販売や地域内での利用でやっている。近隣市村からの集客もあり、大型店舗ができてくると思う。市民意識調査にて80%が継続居住の意向があり、こんな町はない。2003年から取り組んでいる地域共生社会であり地域住民の取組みのおかげである。外国やWHOからの視察もある。この取組みは当たり前ではない。制度と制度の狭間は作らない。誰一人取り残さないとの思いでやっている。

住民自治の熟度が高まってきた。市民の自発的活動に対して市がどうサポートするかスタンスでやっている。

(会 長) その他空き家に関する質問などはないか。なければ以上で閉会とします。

— 閉会 —